

2023年(令和5年)12月7日

近畿本部 衛生工学部会 第51回例会の御案内

近畿本部 衛生工学部会 部会長 助宮賢治

近畿本部 衛生工学部会 令和5年度第51回例会を下記要領で行います。ご参加頂きますよう御案内致します。

— 記 —

1. 日時：2023年(令和5年)12月23日(土) 14:00~15:00

2. 場所：日本技術士会 近畿本部会議室(近畿富山会館ビル2階)

3. 会議方式：TEAMSを使ったWeb会議および対面併用方式

参加希望者には、開始日前日までにWeb会議のURLリンク情報を送付します

4. 講演：14:00~15:00

題目：排ガス処理装置の予兆保全導入に向けた取り組み

講師：大口 宗範 氏

(株式会社大気社 環境システム事業部 グリーン機器事業所 技術部 環境エンジニアリング室長)

概要：大気社は 大気汚染物質である揮発性有機化合物(VOC)を効率的に分解除去する排ガス処理装置RTO(Regenerative Thermal Oxidizer)を1998年ごろから製作、納入しメンテナンスを行っている。装置は送風機、バーナ、熱交換器、切替バルブ・ダンパおよびセンサ類で構成され、予防保全による機器メンテナンスを提案、実施しているが、環境の違いなどによる劣化の早まりや、その他要因により機器の故障や不具合による停止が少なからず発生している。異常兆候を検知し、その発生までの時間を試算することで計画保全につながり、突発故障対応の負荷や生産停止リスクを下げることに繋がる。不具合発生の原因などの記録から予兆検出のターゲットの決定、異常発生までの時間の試算方法を検討し、新型1号機納入に至るまでの事例を紹介する。

略歴：2000年3月 関西大学大学院 工学研究科 化学工学専攻 卒業、同年株式会社大気社入社、その後、国際部、シンガポール支店勤務を経て、2007年より国内及び中国、シンガポール、マレーシアの排気処理装置設置プロジェクトに従事。2018年より現職および排気処理装置の予兆保全システム開発、排ガス処理装置の新製品開発を推進している。

資格：一級管工事施工管理技士、公害防止管理者、ファシリティーマネージャー

5. 参加費：会議室参加：会員1000円、非会員2000円、WEB参加：無料

6. 参加申込：参加申込は下記までお願いします。

メール送付先：kinki.eisei.pe@gmail.com (近畿本部 衛生工学部会アドレス)

件名に【12月例会】を付け、氏名、技術部門、メールアドレス、会場参加・Web参加の区別を記載して下さい。

参加希望者多数の場合には募集を打ち切る場合があります。

7. 申込締切：2023年12月21日(木)とします。

—以上—